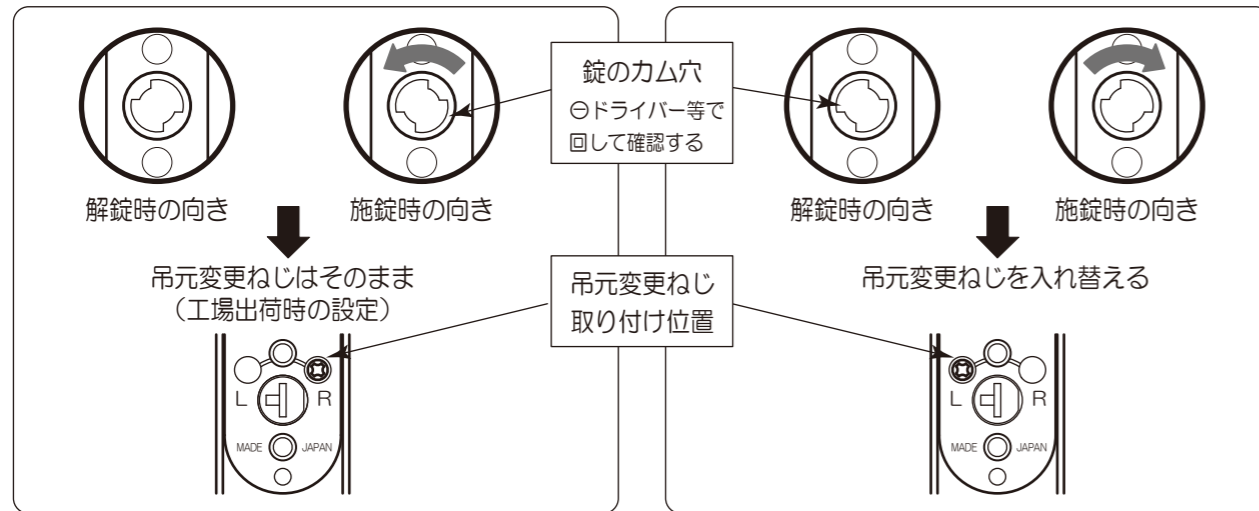


錠のカム穴の向きと吊元変更ねじの位置確認

キーレックス 500【MIWA】POSTE 仕様の吊元変更ねじの位置は、扉の開き勝手にかかわらず、錠のカム穴の位置で決まります。キーレックス本体を取り付ける扉面から、錠のカム穴の位置を確認し、対応する吊元変更ねじの位置を確認してください。

⚠ 吊元変更ねじを逆の状態に取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。



記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンやサムターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



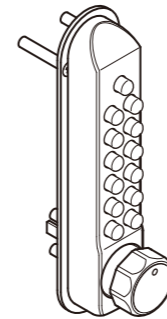
KEYLEX[®] 500

7275037

KL500
MIWA POSTE 錠
シリンダー取替

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22293

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈 記憶番号の記録 〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

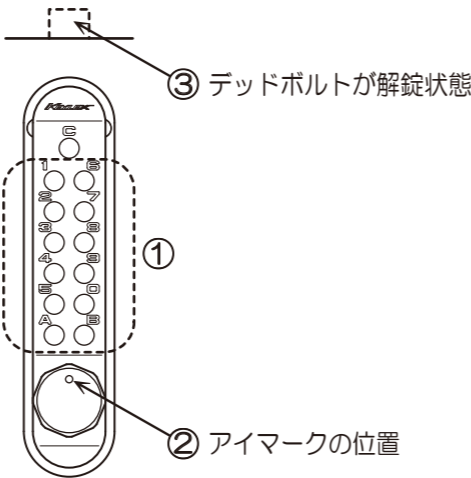
大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。
ご使用前に確認してください。

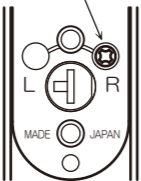
- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが解錠状態になっている



室内側

室外側

キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取付位置 R

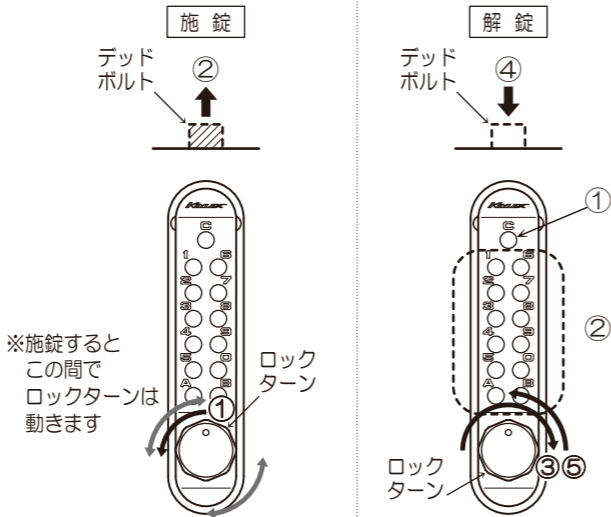
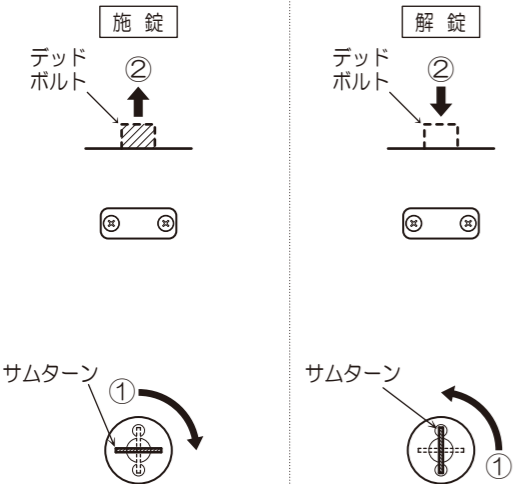


施錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが出ることを確認します。

解錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが収まることを確認します。

施錠：①ロックターンを回し、②デッドボルトが出ることを確認します。

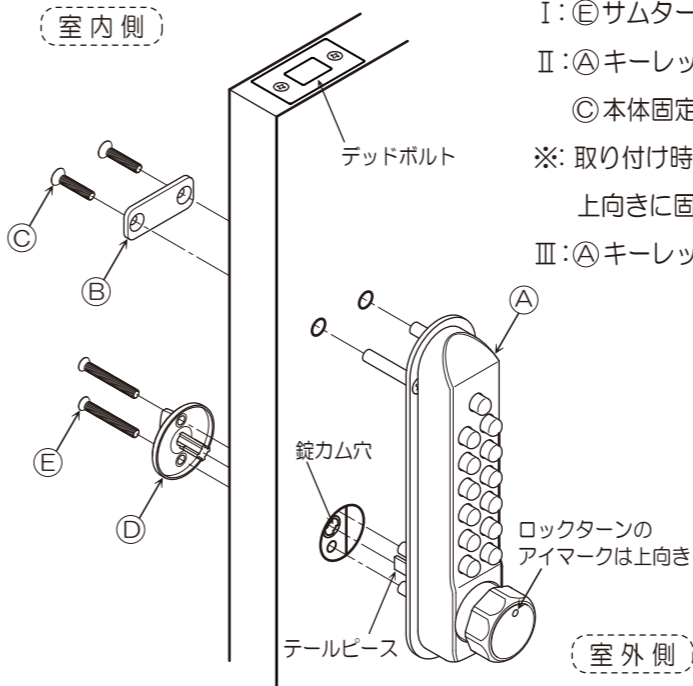
解錠：①C ボタンを押し、②正しい記憶番号を押します。
③ロックターンを回しきり、
④デッドボルトが収まることを確認します。
⑤ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。



※本図は、キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取付位置が R 仕様です。吊元変更ねじ取付位置が L 時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します。



取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。

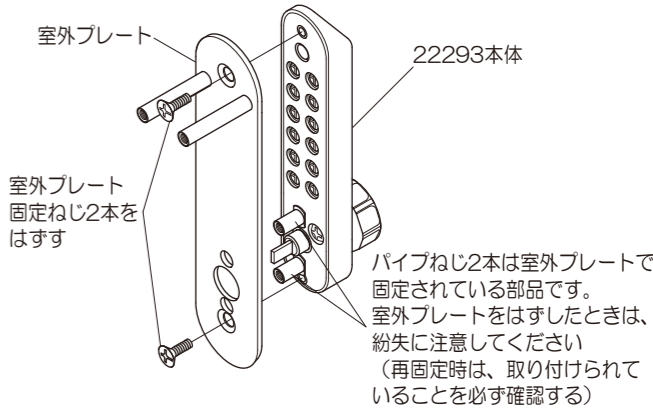
I：⑥サムターン固定ねじ2本をはずし、⑩サムターンをはずします。

II：④キーレックス本体の落下に注意しながら、

③本体固定ねじをはずし、⑧室内プレートをはずします。

※：取り付け時は、デッドボルトは解錠状態、ロックターンのアイマークを上向きに固定して、テールピースを錠カム穴に差し込みます。

III：④キーレックス本体に固定されている室外プレートをはずします。



【2】記憶番号の設定変更をします。⚠️ ロックターンのアイマークは常に真上の位置を保ってください。

【記憶番号変更の準備】

①本体表側のC ボタンを押します。

⚠️ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

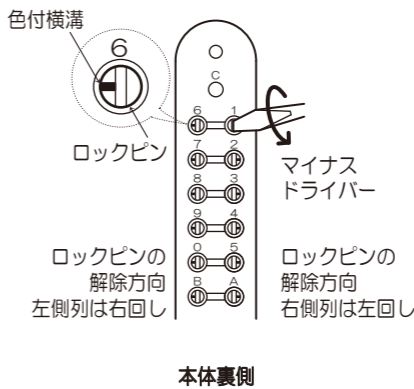
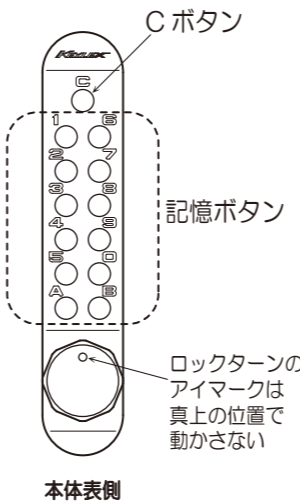
※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

②本体を裏返します。

【現在の記憶番号を解除】

③本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。（ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる）

④本体を表側にし、アイマークを真上の状態でロックターンが左右90度ずつ回転することを確認します。

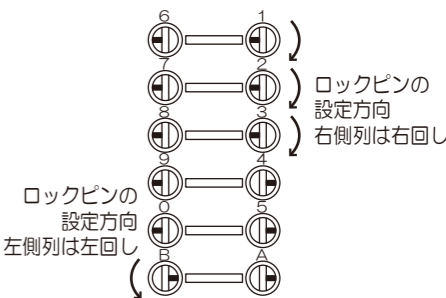


【記憶番号の設定】

⑤新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。

⑥本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。

例：B 1 2 3



⑦解錠操作でロックターンが確実に作動することを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号、吊元変更ねじとテールピース取り付け位置を確認してください。